

# 避暑地六甲山で夏の涼を体感 氷室開き & 冷風体験 7月13日(木)スタート 自然体感展望台 六甲枝垂れ

阪神電気鉄道株式会社(本社：大阪市 社長：秦雅夫)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社：神戸市 社長：宮西幸治)は、パノラマビューや六甲山の四季折々の自然を体感できる展望施設「自然体感展望台 六甲枝垂れ」で、開業記念日にあたる7月13日(木)に、展望台の内部にある氷を貯蔵している部屋の扉を開放し、外気を取り入れる「氷室(ひむろ)開き」を行い「冷風体験」をスタートします。

「冷風体験」とは、冬に採取して氷室に貯蔵しておいた天然氷と、六甲山に吹く自然の風を利用し、**電力を一切使用せずに自然の力だけで夏に涼風を体験できる、エコな自然循環の取り組み**です。

通常、「氷室」内部は一般公開していませんが、**7月13日(木)には氷室の内部を一般の方にも特別に公開(要予約・先着順)**します。

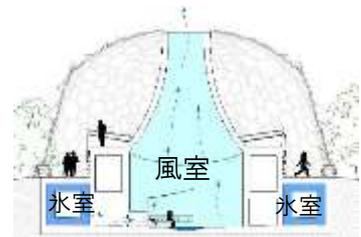


自然体感展望台 六甲枝垂れ 外観

## 神戸市街地と比べて、約マイナス10度の涼しさ！

六甲山上は神戸市街地に比べて5～6度気温が低く、昔から避暑地として親しまれてきました。「自然体感展望台 六甲枝垂れ」内部にある「風室」の気温は、氷室開き後、約20度の気温を保ち、大変涼しく過ごすことができます。

特に猛暑予報の今夏は、例年以上にその効果が発揮されるのではと期待しています。このエコな自然循環の仕組みは、六甲山の自然と調和した設計がなされた「自然体感展望台 六甲枝垂れ」ならではのものです。



「冷風体験」の仕組み



①【天然氷】



②【氷の切り出し】



③【氷室に氷を運搬・貯蔵】



④【氷室開き／冷風体験】

- ① 六甲山上では冬季に気温が0度以下になることがしばしばあり、展望台の周りにある雨水を溜める場所「氷棚」には5センチ以上の氷が張ります。
- ② チェーンソーを使って切り出します。冷風体験のために、8面ある氷棚の氷を最大で3回切り出す必要があります。
- ③ 展望台の地下には16立方メートルの「氷室(ひむろ)」が2つあります。電気を使わず夏まで氷を貯蔵します。
- ④ 展望台の開業日にあたる7月13日に、密閉していた氷室の扉を開放します。六甲山に吹く風を氷室の内部に取り込み、自然のエネルギーのみで涼風を作り出します。氷が溶けて無くなるまで冷風体験ができます。

※昨年は8月末まで実施できました。

### ◆◇20名様限定「氷室開き」実施概要◆◇

氷室内部の見学をはじめ、「冷風体験」の仕組みや氷を貯蔵する様子等をパネルを用いてご紹介します。

【開催日時】 7月13日(木)9:45～ 【料 金】 無料 【定 員】 20名様(申込先着順)

【申込方法】 6月5日(月)10:00から電話(078-894-2281)にて受付

### 「自然体感展望台 六甲枝垂れ」営業概要

【営業時間】 10:00～21:00(最終受付20:30) 【入 場 料】 大人300円 小人(4歳～小学生)200円

【定 休 日】 無休 【所 在 地】 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町五介山1877-9

### <資料に関する問合せ先>

六甲ガーデンテラス TEL:078-894-2281